

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録		
招 集 期 日	令 和 7 年 1 0 月 1 6 日 (木)	
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室	
開 会	1 0 月 1 6 日 午 前 9 時 3 0 分	
閉 会	1 0 月 1 6 日 午 前 1 0 時 4 5 分	
教 育 長	戸 ケ 崎 勤	
教 育 長 ・ 委 員 出 席 状 況	戸 ケ 崎 勤	出 席
	仙 波 憲 一	出 席
	木 村 雅 文	出 席
	長 道 修	出 席
	浜 田 美 咲	出 席
説 明 員 (出席者)	川和田教育部長、梶山参事、片境次長	
	重信教育総務課長、河西学務課長、水沼教育政策室担当課長	
	石橋生涯学習課長、中沢生涯学習課課長	
書 記	教育総務課総務担当 我妻副主幹	
傍 聴 人	0 名	

会 議 の 経 過 及 び 結 果

教 育 長

開式の前に御披露させていただきます。仙波委員が 10 月 9 日に文部科学省において「地方教育行政功労者文部科学大臣表彰」を受賞されました。誠におめでとうございます。引き続き戸田市の教育発展のために御教示のほど、よろしくお願いいたします。

さて、4 月 13 日から 184 日間に渡り開催された大阪万博が 10 月 13 日（月）に終了しました。会場の夢洲は、国際観光拠点として生まれ変わるため、一部施設を除くパビリオンの大半の撤去が始まりました。ホスト国として日本館は、解体後の再利用を前提に様々な工法が採用されていました。

実際に私も見てきましたが、「ごみを食べる日本館」として、会場内のごみを分解しガスや水として再生するなど、「生きたパビリオン」になっていました。3 つのエリアで構成される館内をぐるりと一周することで、日本の美意識である「循環」の意義を理解し、自分自身も、その果てしなく壮大な物語の一部であることを感じるつくりになっていました。私は、特に” Factory Area” に惹かれました。案内役のドラえもんが日本の建築技術、宇宙開発、日本のものづくりを紹介していました。その中の一つ、「やわらかなギャラリー」だけ触れますと、ここでは生まれ変わることを前提に、大きく 8 つに分けて「やわらかく作られた」ものたちを紹介するギャラリーとなっていました。

①やわらかく作ることによって長持ちする。こわれても簡単に直せたり、力をしなやかに受け止めたりする。日本の伝統的な桶や竹かごの技術。

②やわらかく作ることによってリレーする。日本の着物は、役目を終えたときのことを考え作られている。この発想は、スマートフォンの中に応用され、留め具は役目を終えたら簡単に溶剤で分解できる技術。

③やわらかく作ることによって受け流す。東京スカイツリーの心柱制振や和釘などの柔軟性を利用して衝撃を逃がす技術。

	<p>④やわらかく作ることによって吸収する。小型月着陸実証機「SLIM」は着陸時にあえて脚部が壊れることによって衝撃を吸収して着陸させる。流れ橋とも言われる上津屋橋などは、増水時には敢えて流され衝撃を吸収する技術。</p> <p>⑤やわらかく作ることによって兼ねる。一つのものに複数の役割を持たせる。様々な使い方ができる風呂敷、日本発の変形ロボット玩具など、一つのものが担える役割を増やしていく発想。</p> <p>⑥やわらかく作ることによって耐えぬく。小惑星探査機はやぶさとはやぶさ2に搭載されたもので、大気圏再突入時に発生する1万度以上の熱を遮断するために、自らを蒸発させながら打ち水のように熱を冷ます技術。古来より日本家屋の外壁に使われた「焼杉」にも近い考え方。</p> <p>⑦やわらかく作ることによって受け継ぐ。式年遷宮は1,300年以上もの間受け継がれている。現在のサステナビリティとも深く共鳴する古い形態を保ちながら新しくあり続ける「常若」の精神。</p> <p>⑧やわらかく作ることによって次へ生かす。日本館の壁には、間伐材から作られた直交集成板（CLT）が使われ、解体後の再利用を見据えて、可能な限り加工を抑えた工法が採用されている。建物だけでなく、ユニフォーム、ベンチ、看板などもリサイクルしやすい素材や構造を採用。</p> <p>このように、日本の文化には昔から、ものを循環させる工夫が溢れていました。現代まで受け継がれてきた、日本のものづくりなどの知恵と技術は、教育を通してしっかりと受け継いでいくべきと強く感じました。</p>
教 育 長	<p>それでは、ただ今から、令和7年第10回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいております。御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p>
各 委 員	<p>了承</p>

教 育 長	それでは、会議録に御署名をお願いします。
各 委 員	署名
教 育 長	<p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。次の案件については、個人情報、公開することにより事務の公正な執行に支障が生じる案件及び人事案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。</p> <p>議案第 2 4 号 一般会計・特別会計 教育委員会関係 1 2 月補正予算</p>
各委員	異議なし
教 育 長	それでは「議案第 2 4 号」は、秘密会とすることに決定いたしました。
教 育 長	では、「教育委員提案」について御報告いたします。浜田委員から御提案のありました「教育委員提案①プレゼンテーション大会の過程について」、事務局より説明願います。
説 明 員	<p>浜田委員から御提案のありましたプレゼンテーション大会の過程について御説明いたします。</p> <p>プレゼンテーション大会は市制施行 50 周年記念として、平成 29 年度から新曽福祉センターで 1 回目が開催され、2 回目の平成 30 年度からは戸田市文化会館で開催しております。コロナ禍も、オンライン開催を実施し、今年度で 10 回目となります。</p> <p>3 ページを御覧ください。戸田市プレゼンテーション大会には、児童生徒が成果発表の機会を通して、達成感や自己効力感を味わうと共に、今後の学校生活及び社会生活における課題発見、課題解決につなげる。児童生徒が各校の発表を聞き合うことを通して、互いのプロジェクトのよさを学び合う。児童生徒が、大会を通じてこれからの社会に必須となる「プレゼンテーション力」を育んだり、そのよさや重要性、ポイントなどを理解したりするという趣旨があります。</p>

4 ページを御覧ください。このような趣旨を踏まえて、プレゼンテーションの内容は、授業内で取り組んだ PBL 等において、実行した解決策の効果をより一層高め、課題解決にさらに近づくために「大会の観覧者に具体的に行動して欲しいこと」の提案となっており、この大会は子供たちが自分たちの課題解決のプロジェクトを前に進めるための手段の場となっています。

5 ページを御覧ください。昨年度の金賞は新曽小学校と新曽中学校でした。新曽小学校は、エビデンスをもとに算数のゲーム開発を行いました。新曽中学校は、小中学生が一人でも災害に立ち向かえるようにというリーフレットの作成を行いました。

7 ページには大会のループリックを掲載しております。大会当日はこのループリックに沿って、審査が行われています。

8 ページには、プレゼンテーション大会に向けての流れをまとめています。4 月には教員向けのプレゼンテーション研修を行い、先ほどお示したループリック等の確認を行っております。また、夏休みには PBL 研修会を行い、経験年数が少ない先生方を中心に PBL の基本的な考え方を深めることができるようにしています。

児童生徒は、総合的な学習の時間において課題解決学習 PBL を実施し、解決の過程等をプレゼンにまとめ、12 月の選考に臨み、代表となったグループが 1 月の大会に出場することになります。

9 ページを御覧ください。ここでは、PBL の学習について御説明いたします。PBL は課題解決、情報収集、整理・分析、まとめ、表現というサイクルを 2 回、または 3 回行う中で、自分たちの課題を解決していきます。

例えば、学校改善プロジェクトというプロジェクトとして学校の課題を解決していく場合、「どうしたら、学校の課題がわかるのか」という問いを解決するため、どんな課題があるかについてアンケートを取って、現状を把握します。その後、アンケート結果を整理し、「トイレ

	<p>が汚い」という課題が一番多く上がったことを確認し、このプロジェクトでは、トイレが汚いことを解決することに取り組むことにします。これが1サイクル目です。</p> <p>その後、2サイクル目として、トイレをきれいにするにはどうしたらよいのかという課題を解決するため、現場を観察し、原因を調べます。清掃の様子や利用者の使い方が原因であると分析し、利用者の使い方が原因であることを発表します。</p> <p>さらに、3サイクル目として、トイレをきれいに使ってもらうにはどうしたらよいのかと課題を設定します。汚れる場所や日時、汚れの種類や利用者の行動等を調べることで情報を収集、汚れの原因を整理し、利用者の足を置く位置が原因だと分析します。解決策として和式便座の座る位置に足跡マークを設置します。</p> <p>子供たちは、サイクルの途中でさまざまな方から、さまざまな視点でフィードバックをもらい、自分たちの活動を改善したり、課題を再設定したりしています。</p> <p>10 ページには、各学校がフィードバックをどのようにもらっているかの例を示しました。地域の施設に作品を展示し、QR コードで感想を収集したり、地域のシルバー人材の方に実際に自分たちで作成した成果物を見てもらったり、実際に使用してもらったりして感想や助言をもらうこともあります。また、オンライン等を使い、実際に企業の方からフィードバックをもらうこともあります。</p> <p>11 ページには、大会当日に向けた流れをまとめました。2～3 サイクルの学びを終えた段階で、学習発表会を設け、全グループが発表します。学年の担任だけでなく他学年教職員、管理職、5 年生や学校運営協議会の方を招待し、発表をみてもらう学校もあります。この学習発表会の中で代表を決める学校もありますが、出場希望のグループを募ったり、学習発表会の中から何チームかを選抜したりして校内大会形式で発表を行い、代表を決める学校もあります。例として、昨年度、</p>
--	--

	<p>金賞だった新曽小では、総合の時間に全員が発表をしますが、大会への出場に関しては、出場希望の数チームのプレゼン発表をループリックと照らし合わせ、子供たち、学年担当、管理職の意見を合わせて最終的に選出をしたとのことでした。</p> <p>代表になったグループは選考時のプレゼンを担当教諭等の助言を受け、ブラッシュアップしていきます。完成したスライドは教育委員会に提出していただき、内容や著作権等の確認を経て、最終スライドとなり、本番を迎えます。</p> <p>12 ページを御覧ください。今後の課題及び展望です。事業開始当初は、身振り手振り等の表現を重視したプレゼンテーションが多くみられていましたが、内容を聞き手に届けることに重点を置いたプレゼンテーションへと変化してきています。今後、目的や手段を明確にし、プロジェクトの過程から得た思いを聞き手に届けることを重視した取組となるよう、指導や伴走をしていきたいと思っております。</p>
教 育 長	何か御質問等がありましたら伺います。
委 員	<p>どうもありがとうございました。私はこの取組の最後に位置づけられているプレゼンテーション大会しか見ていなかったため、代表の子達だけが集まって取り組み、成果を発表していると思っていました。全ての児童生徒がそれぞれ課題を持って発表まで取り組んでいることを知り、安心しました。当初は声や身振り手振りの工夫ばかり多かったとありましたが、今はそれらを効果的に使っていると感じました。発表の指導は誰が行っているのですか。</p>
事 務 局	<p>指導は代表チームが決まったあと、プレゼンテーションを観ていた方からのフィードバックをもとに行っています。代表に決まらない児童生徒達も年々発表時の工夫ができるようになってきていると思いますが、大会に出場する児童生徒に関しては、学級等で発表する機会を設けるなど、先生方や友達等から助言をもらいながら、内容の改善を行い出場します。</p>

委 員	<p>いつも拝見していると、実際に行動したくなることばかりで本当に素晴らしいと思っています。</p> <p>一つ思ったところとしては、去年優勝した新曽小の算数ゲーム等、せつかくよいものを作っていますので、発表して終わりではなく、その学校内に展開していただくとよいのではないかと思います。</p>
委 員	<p>プレゼンテーション大会の選考の方法はどうなっているのか興味がありましたが、先程のお話では、ある程度学年を絞ったり、学校によっては誰でもがエントリーできるシステムがあったりということがわかりました。毎年このように取り組むことで自分から発表したいという主体的な子供が増えていくのではないかと思います。どんなグループでもどんな子供でも出場できるという状況を少しずつ広めていただければありがたいと思います。</p> <p>本当にこれは主体性や探究心・思考力が深まる非常にいい取り組みだと思います。情報収集の仕方や子供たちの手振り身振りも含めた内容を聞き手に届けるような工夫や表現力が非常に高まっており、本当に PBL だけでなく教育レベルが上がっていると思います。是非継続していただければと思います。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。お二方とも大変貴重な御意見でしたので、校長会等で伝えたいと思います。</p>
委 員	<p>今日お話を伺って、よい意味で変わってきたなと思いました。当初参加させていただいた頃は、先生方や周りの人が作ったものを子供に発表させていたように受け止めていました。</p> <p>ところが近年は子供たちが自分たちで感じ取ったことについて研究して調べて、さまざまな方の意見を聞いてプレゼンを作成しており、本当の意味での学習成果のプレゼンであると感じました。</p> <p>やはり、子供たちが何を考えて何を問題視しているのかを、研究しながらまとめ上げていくプロセスを実現させるという意味で、PBL は</p>

	<p>すごくいいと思いました。これからも是非続けていただきたいです。</p> <p>一つ疑問があります。大会主旨の２行目に大きく書いてある「自己効力感」とは具体的にどういうことか教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>自己効力感とは、自分でもできる力があるということを自分自身で認めていける力のことです。小さな成功体験をどんどん繋ぐということを教育の中で言われていますが、やはり日々学習していることが現実社会と乖離していると言われる中で、現実社会の課題を変える力が自分にはあるということを、この PBL の学びを通して実感させていこうという思いからこの言葉を用いています。</p> <p>社会を変える力があると言うと大袈裟かもしれませんが、そういうことに繋がるような取り組みをしたいという教育長の思いもあって、取り組みを進めています。</p>
委員	<p>社会と自分が繋がっていて、自分の考えが社会に何らかの影響力や効果を及ぼすと実感できることが大事だと理解しました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>発表されたアイデアを製品化した方がいいのではないかと考えているのですが、今までに審査員の方等からもう少し話を聞きたいと話があったり、社会に対して広がりを見せたりした例はありましたか。</p>
事務局	<p>はい。大会の審査員の方からではありませんが、課題を解決していく中でありました。例えば、はちみつ戸田ハニーを使ったラスクは、市内の店舗で商品化されて、販売されています。</p> <p>さらに、自分たちで作ったものを朝市で販売する、市役所内のコンビニに自分たちが作成したエコバッグを置いてもらうなど、学校外の方と連携しながら、自分たちで活動の場を広げている例があります。</p>
教育長	<p>コロナ禍のときは、医療従事者の方に向けて子供たちの発想で作ったバッジを手渡すなど、社会とのつながりを意識した教育活動をしていました。</p>

委 員	<p>そういうことに取り組むと自信にもつながりますので、素晴らしいと思います。今後も楽しみにしています。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。年明けにプレゼンテーション大会がありますので、是非さらにバージョンアップしたものを見ていただきたいと思います。</p> <p>説明でもありましたが、当初は審査員の方に様々な厳しい意見をいただきました。課題解決のプロセスというより、声や動作を合わせるなど発表の仕方ばかりに力を入れる学校が多くありました。その後、7 ページにある課題設定やその解決のプロセスを重視するループリックを民間の方とともに作り、このループリックに基づいて取り組んだところ、今までの見せ方が中心になっていたプレゼンから内容重視に転換し、人の心が動くようなプレゼンに劇的に変わりました。</p> <p>審査員の方々には「内容がよければ自然に訴える力はあるから、とにかく内容で勝負だ」と言われて、その成果あって本当に素晴らしい内容が発表されています。</p> <p>課題としては、小学校でできているものが中学校でもっと深まらないのだからと考えています。中学校の PBL の取り組み方については改善の余地があると感じています。</p> <p>今日頂いた御意見を校長会等で是非共有し、よりよいものが目指せるように進めていきたいと思っています。では教育委員提案は終わりにいたします。</p>
教 育 長	<p>続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして7件の報告がございます。</p> <p>① 令和7年度第2回奨学資金貸付内訳について</p> <p>② 中学校部活動関東・全国大会の結果について</p> <p>③ 令和7年度人権教育指導者研修会の開催について</p>

	<p>④ 「子ども大学とだ」の実施報告について</p> <p>⑤ 福祉センター再編方針及び西部福祉センター再整備基本構想について</p> <p>⑥ 戸田かけはし高等特別支援学校令和7年美術作品展の開催について</p> <p>⑦ その他</p> <p>秘密会以外の詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>
説明員	<p>報告事項① 「令和7年度第2回奨学資金貸付内訳について」報告いたします。</p> <p>資料1ページを御覧ください。奨学資金貸付につきましては、年に2回、3月と9月にそれぞれ4月からの奨学生・10月からの奨学生を募集しております。今回、令和7年度第2回として9月に募集を行ったところ、1人の申請があり、貸付が決定いたしました。</p> <p>なお、今年度第1回の決定者は7人となっておりますので、今年度は合計で8人の貸付となります。報告は以上でございます。</p>
説明員	<p>報告事項② 「中学校部活動関東・全国大会の結果について」報告いたします。</p> <p>資料を御覧ください。今年度の部活動の関東大会と全国大会の結果でございます。まず、全国大会出場は、戸田中のボート部の男子、女子舵手付きクォドルプル、陸上女子100メートル、新曽中の陸上、男子1,500メートル、体操の団体総合となります。</p> <p>関東大会は、戸田東中の陸上と新曽中の体操女子団体総合、ソフトテニス男子個人戦、柔道の女子個人戦、水泳の女子50メートル自由形、女子100メートル平泳ぎ、笹目中の陸上4種競技、水泳男子平泳ぎです。</p> <p>さらに、民間チームとして、デカキッズ所属の中学生在が2名、陸上</p>

	<p>の全国大会に出場しております。</p> <p>全国で活躍するとだっ子がさらに増えることを期待しております。</p> <p>なお、中学校 3 年生はこれで部活動が終わり、2 年生を中心とした新たな活動がスタートしています。報告は以上でございます。</p>
説 明 員	<p>報告事項③ 「令和 7 年度人権教育指導者研修会の開催について」報告いたします。</p> <p>資料 3 ページを御覧ください。今年度の研修会は、現代的な人権課題にもスポットを当てながら、11 月 4 日から 18 日までの間で計 4 回の研修会を実施いたします。</p> <p>1 回目は「暮らしの中の人権」と題して、埼玉県 県民生活部人権・男女共同参画課 高橋厚裕（たかはし あつひろ）様を講師にお招きし開催いたします。2 回目は「災害時における人権への配慮『多様性の視点による防災』」と題して、聖路加国際大学大学院 看護学研究科 ウィメンズヘルス・助産学教授 五十嵐ゆかり（いがらし ゆかり）様を講師にお招きし開催いたします。3 回目は「障害のある人の人権」と題して、日本女子大学人間社会学部社会福祉学科教授 田中恵美子（たなか えみこ）様を講師にお招きし開催いたします。4 回目は「子供の人権」と題して、戸田市教育委員会次長兼教育政策室長の片境室長を講師として開催いたします。</p> <p>会場は戸田市文化会館 304 会議室で、時間は午後 2 時からでございます。今回も、会場受講に加えて第 2 回を除きオンデマンド配信を実施いたします。</p> <p>報告事項③につきましては以上となります。</p>
説 明 員	<p>報告事項④ 「『子ども大学とだ』の実施報告について」報告いたします。資料 4 ページを御覧ください。</p> <p>今年度の「子ども大学とだ」は、下戸田公民館を会場に、全 4 回、定員 30 人に対し 69 人の応募があり、抽選により 29 人の子供たちが参加しました。全体を通した感想としては、「今まで知らなかったことをたくさん知れた」「普段学校では受けられない授業で、特別感があつ</p>

	<p>て楽しかった」など子供たちの満足度も高く、子供たちの笑顔や会話を通じて担当した職員も大いに刺激を受けました。</p> <p>資料 5 ページを御覧ください。1 日目は講義の前に入学式を行い、学長挨拶として戸ヶ崎教育長から、「子ども大学とだ」で学ぶことの意義や参加者に期待することなどのメッセージを子供たちに直接伝えていただきました。</p> <p>講義の「JAXA 職員に学ぶ『宇宙開発の現状と未来』」では、現役の JAXA 職員から映像などを交えた最新の宇宙開発についての説明があり、本物の宇宙食に触れる機会もあるなど、子供たちの知的好奇心を刺激する内容となりました。</p> <p>資料 6 ページを御覧ください。2 日目の「実験教室『低温の不思議』」では、国立研究開発法人産業技術総合研究所の職員を講師に招き、液体窒素を使った実験を行いました。グループに分かれ、温度によって空気の状態が変化することや低温による超電導状態の効果などを学びました。</p> <p>資料 7 ページを御覧ください。3 日目の「地元の企業に学ぶ」では、株式会社トンボ楽器製作所の代表取締役社長 眞野照久（まのてるひさ）様から会社で製作しているハーモニカやアコーディオンについての説明やご自身による演奏、そして参加者にハーモニカをプレゼントいただき一緒に演奏するなど、貴重な体験となりました。</p> <p>資料 8 ページからは、最終日の「青山学院大学キャンパス訪問」の様子です。青山学院大学の青山キャンパスを訪問し、「やさしい未来のつくり方～大学で学ぶボランティアとチームワーク～」の講義では、グループワークによるチームワークを学びました。9 ページは、パイプオルガン演奏の鑑賞の後、パイプオルガンの仕組みの説明や礼拝堂の見学の様子です。10 ページは、学食体験、大学生のガイドボランティアと回るキャンパス見学ツアーなどを実施し、充実した 1 日を過ごしました。</p> <p>普段の学校での授業とは違った講義や体験、大学生との交流など、</p>
--	--

	<p>子どもたちにとっては学びの楽しさを感じ、将来を考えるきっかけにもなったのではないかと考えております。</p> <p>今後もより魅力的な内容の「子ども大学とだ」を開催し、子どもたちの学習意欲の向上に努めてまいります。</p> <p>報告④につきましては、以上となります。</p>
説明員	<p>報告事項⑤ 「福祉センター再編方針及び西部福祉センター再整備基本構想について」 報告いたします。</p> <p>資料 12 ページを御覧ください。企画財政部資産マネジメント推進室から提供いただいた資料を基に御報告させていただきます。</p> <p>福祉センターの再編につきましては、令和 6 年度から検討部会が設置され、各福祉センターでの市民ワークショップなどを踏まえ、令和 7 年度中に福祉センター再編方針及び西部福祉センター再整備基本構想を策定する予定となっております。</p> <p>昨年 11 月の定例教育委員会においても報告いたしましたが、本市の公民館は福祉センターとの複合施設となっており、老朽化の他にも利用者の固定化など様々な課題についても抱えている状況です。</p> <p>この度の福祉センター再編方針（案）につきましては、将来像を「地域のみんなの居場所となる交流拠点」として、コミュニティ、生涯学習、子育て支援、地域福祉、防災の 5 つの機能を集約し、多世代が利用できる地域の交流拠点とするなど、4 つの基本方針に基づき、今後 20 年間で段階的に 3 施設の再編を目指すという内容となっています。</p> <p>また、最も老朽化が進む西部福祉センター・美笹公民館については、西部福祉センター再整備基本構想（案）として、将来像を「美笹地域のみんなの居場所 にぎわい・くらし・まなびの拠点」として、3 つの基本方針に基づき再整備を進めていく内容となっています。</p> <p>社会教育施設である公民館につきましては、順次新たな形の施設として再整備を行っていくこととなりますが、地域の学びの拠点といった生涯学習の機能を維持しつつ、より魅力的な施設へと移行できるよう、引き続き関係各課と調整を図ってまいります。今後、11 月 1 日</p>

	<p>(土) から 11 月 30 日 (日) までパブリック・コメントが実施される予定となっております。</p> <p>また、資料にはございませんが、公民館の工事予定等につきまして、併せてご報告させていただきます。</p> <p>下戸田公民館・東部福祉センターにおきましては、令和 7 年 9 月市議会定例会での補正予算の決定を受け、体育室の屋根・天井及び空調設備工事の実施予定となっております。この工事に伴いまして、体育室は、令和 8 年 1 月から 6 月までの間、利用中止の予定となっております。</p> <p>また、新曽公民館・新曽福祉センターにおきましては、1977 年の建築から 48 年が経過しており、外壁及び防水機能の劣化が激しいことから、令和 9 年度の改修工事を目指して検討していくとのございます。工事実施の際には、一定期間全館の利用を中止する必要があるとのお事ですので、講座の実施や育成サークルの支援等につきまして、今後調整を進めてまいります。</p> <p>報告は、以上となります。</p>
説明員	<p>報告事項⑥ 「戸田かけはし高等特別支援学校令和 7 年美術作品展の開催について」 報告いたします。14 ページを御覧願います。</p> <p>戸田市立郷土博物館 3 階特別展示室において、戸田かけはし高等特別支援学校令和 7 年美術作品展を開催します。</p> <p>郷土博物館では、来館者がアート作品に身近に触れられる機会を提供する「アートミュージアム」機能の展開を図っており、その一環として、令和 4 年度より県立戸田かけはし高等特別支援学校のご協力を得て、生徒が制作した美術作品の展示を実施しています。</p> <p>今回は、第 2 学年の生徒が制作した約 60 点の美術作品展を開催いたします。開催日は、11 月 1 日 (土) から 11 月 12 日 (水) のうち、11 月 10 日 (月) の閉館日を除いた 11 日間となります。</p> <p>説明は以上でございます。</p>

教 育 長	次に⑦ その他ですが、事務局より何かございますか。
事 務 局	特にありません。
教 育 長	以上で、報告事項が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。では報告事項の①はいかがでしょうか。
委 員	貸付は無利子ですか。また返済期間はどのような感じですか。
事 務 局	貸付は無利子で、返済期間は、最長 10 年です。
委 員	財源は何ですか。
事 務 局	一般財源でございます。
委 員	一般財源ですのでなかなか難しいかもしれませんが、現在の時勢を踏まえると、貸付額の増額や貸付から給付への変更について検討してはどうかと考えました。
事 務 局	利用者においては給付の方が望ましいと認識しておりますが、一般財源での運用であることから、現状での制度変更には財政上の課題がございます。今後も国の制度や他自治体等の動向も注視しながら、よりよい制度の在り方を検討してまいります。まずは制度の周知等、利用しやすい改善を進めてまいります。
教 育 長	続きまして報告事項②についてはいかがでしょうか。
委 員	部活動として学校に存在しない種目がありますが、地域でやっている子供たちがいて、それで大会に出場し、学校側が引率して行っているということよろしいですか。ということは、地域でかなり展開している状況もあり、そうやって頑張ってやってらっしゃるところの子供たちも活躍しているということで考えていいのですか。
事 務 局	はい。
教 育 長	今までは学校に所属していないと出場できないという制限がありましたが、段々それが柔軟化してきたため地域で活動していた子供が

	出場しやすくなったという側面が大きいと考えます。今後は大会のあり方も変わってくるだろうと思います。
委 員	ボートの種目でクォドルプルというのは何ですか。
委 員	クォドルプルという種目は、漕ぎ手が4人いて、1人2本オールを持って、計8本のオールで漕ぐボートをクォドルプルと言います。「舵手付き」と書かれていますが、この舵手は漕がないで指示を出しながら舵を取る人のことです。舵手付きクォドルプルというのは5人乗りのボートでオールが8本ある種目ということです。
委 員	陸上競技で4種競技と書いてありますが種目は何をやるのですか。
事 務 局	女子は砲丸、走高跳、200m、100m ハードルで、男子は距離が伸びて400m と 110m ハードルになります。今回出場したのは女子生徒になります。
教 育 長	では次に報告事項③はいかがでしょうか。よろしいですか。
教 育 長	<p>続いて報告事項の④子ども大学とだについてはいかがでしょうか。</p> <p>改めて受講者の感想を読むと、本当に素晴らしいです。こういう体験がやはり多くの子供にできるとよいと思いますので、抽選で漏れないようにしたいのですが難しいのでしょうか。</p>
事 務 局	一つはバスの問題です。バス一台で、大学に伺っていますが、来年度予算の見積もりを取りますとバス代が約1.6倍に値上がりしている状態です。
教 育 長	<p>青山学院大学へ行くというのを切り離せば、ある程度、定員の問題が解消するのではないのでしょうか。今回の産総研やトンボ等の体験等と組み合わせ、青学に赴くところだけ人数制限を設けることは可能かもしれません。</p> <p>あまりにも子供の感想が素晴らしく、少しでも多くの子供に味わわせたいです。特に JAXA や産総研など本物の研究者が説明してくれる</p>

	という、こんな貴重な機会はなかなか得られません。是非検討をしていただければと思います。
委 員	参加人数に制限がある場合、できれば映像に撮っていただいて、それを各学校で何かの機会に視聴することができたらと思いました。検討していただけたらと思います。
委 員	募集人数 30 人に対し応募者が 69 人ですが、6 年生を優先してあげる等、何か工夫はされていましたか。
事 務 局	今年度特に応募者が多かった状況です。多くのお子さんに体験をしていただきたいというところでは、過去に参加の歴がない方や学年を優先するなど、募集の段階からきちんとアナウンスをしていく必要があったと今年度の反省の中で考えています。
委 員	修了者が応募に対して 1 名少ないのはどういうことでしょうか。
事 務 局	講座が始まる直前に辞退された方がいて、参加できませんでした。
委 員	青山学院大学へのバスが参加人数の制限になっていることについて、始めから現地集合にして親が連れていくのはいかがでしょうか。その条件であっても、おそらく受けさせたい方は多いのではないかと思います。
教 育 長	それでは報告事項⑤に移りますがいかがでしょうか。東部福祉センターで体育室の天井をとという話はわかるのですが、西部福祉センターの建て替えの話は固まってないのですよね。
事 務 局	そうですね。場所も含めて現在検討中とのことで、再整備に向けての考え方が今回まとまってきているという状態でございます。
委 員	現在パブリック・コメントを実施していて、そこの一番上に福祉センター再編検討部会と書いてありますが、検討の進め方として、再編検討部会が最終的な案を作るのですか。
事 務 局	あくまで案を作って、その後、庁内の意思決定の会議にかかって、

	決定をしていく流れになります。
委 員	福祉センターの再編検討部会には何らかの外部の識者等々が入っているのですか。
事 務 局	入っています。
委 員	福祉センターはますます重要性を増しているものなので、単なる地元意識だけではなく、世の中の動きなどについて十分に知見を持ってらっしゃる方がいると、10 年、20 年先を見過ごした形での意見を取り入れることができると思います。是非いらっしゃればそれは結構ですが、是非入れていただければと思います。
教 育 長	<p>大変重要な御指摘だと思いますので、教育委員会でこういう意見が出ているということを、担当部局にも届けられるようにしてください。是非お願いしたいと思います。</p> <p>それでは最後に報告事項⑥についてはいかがでしょうか。特にはよろしいですか。では以上で報告事項の方を終わりにしたいと思います。</p>
教 育 長	次に次第の 5、その他の次回の教育委員会日程案について事務局より説明をお願いしたいと思います。
事 務 局	次回の教育委員会の日程につきましては、11 月 20 日（木）午前 9 時 30 分からの開催と考えておりますが、お諮りいたします。
各 委 員	了承
教 育 長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次にその他ですが、事務局から何かございますか。
事 務 局	特にありません。
教 育 長	委員の皆様から何かございますか。
委 員	戸田市とは少し違うかもしれませんが、現在の国の方針として学習

	<p>指導要領改訂のための議論がかなりまとまってきていると聞きました。関心はあるのですが、情報量が膨大で、骨子がどこにあるのかが分からないなと感じたため、是非教育長から流れを教えてくださいたいと思います。</p>
教 育 長	<p>9月に教育課程企画特別部会から論点整理がまとめられて、改訂の3本柱としてエクセレンスとエクイティとフィージビリティという3つの言葉が登場しました。国の流れとして教育委員会も非常に関係があり、この流れに沿ってこれから様々な部会で話が進んでいくところですので、その話を情報提供させていただければと思います。</p>
委 員	<p>現在、学校において外国籍の子供が非常に多くなっていると思います。現状と課題について教えてくださいたいです。</p>
教 育 長	<p>これは学務課からお願いしたいと思います。</p>
委 員	<p>教育現場の働き方改革について、率直に申し上げるとあまり進んでいないように感じます。現状と、今後どのような方向で進めていくのかについて教えてくださいたいと思います。</p> <p>また、修学旅行は京都に行く学校が多いと聞きましたが、インバウンドの影響による難しさがあると思います。他の行先を考えることもできますが、その辺り戸田市としてはどういう方針で進めていくのか教えてくださいたいです。また、昨今の物価高でご家庭の生活も苦しい中、市から修学旅行の費用について補助はあるのか気になりました。例えば東京都のある区では全額補助という話も出ているようです。</p>
教 育 長	<p>働き方改革については学務課から、修学旅行については教育政策室からお願いしたいと思います。</p>
委 員	<p>市内の防災放送で、20代女性や50代男性の行方不明情報を耳にしました。どちらもとてもお若いですが、若年性認知症は20代でもなる人がいると若年性認知症の映画を見て知りました。認知症について</p>

	多くの人が正しく理解してサポートしてあげられる街になって欲しいと思います。
教 育 長	ありがとうございました。非常に重要な問題だと思いますので、是非取り上げたいと思います。
教 育 長	それでは「議案第２４号」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に関係する職員以外は退席願います。
	【報告事項①を議決して閉会】

	<p>以上のとおり会議の経過及び結果を記し、相違ないことを証するため署名する。</p>
	<p>令和7年11月20日</p>
	<p>教 育 長</p>
	<p>教育長職務代理者</p>
	<p>委 員</p>
	<p>委 員</p>
	<p>委 員</p>
	<p>書 記</p>